

令和6年度の御挨拶

今年度で本校校長3年目を迎えました 中尾 恵子 です。

保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になっております。

令和6年度も昨年度同様、よろしくお願いいたします。

【本校の環境】

校区である山内町は佐賀県武雄市の西部に位置し、学校の北には黒髪山、南には神六山がそびえ、町内を松浦川や鳥海（とのみ）川が流れる緑豊かな自然と風土に恵まれた学校です。地域には文化財や伝統芸能、歴史とともに受け継がれてきた行事なども数多く存在し、地域の皆さまの風情あふれる豊かな民情とともに、素晴らしい教育環境が醸成されています。私も、豊かな自然や人々の温かさなど山内町の素晴らしさを十分に感じ取ることができました。

【本校の歴史】

本校は、昭和34年6月の開校以来66年目を迎え、卒業生1万人を超える中学校です。生徒信条の「やればできる 自ら求めて 一步でも前進」は、それぞれの世代に語り継がれ、卒業生一人一人の心に根付いています。礼節を重んじる生徒を育成するために、1995年10月から人間教育の土台づくりを提唱し実践された森 信三先生の教えである「立腰教育」を取り入れて今年度で29年目の取組となります。

また、生徒会活動の一環として、平成22年のA J I S A I宣言、平成24年からはA J I S A I宣言を具現化したA J I S A I運動（あいさつ、時間を守る、いじめゼロ、無言掃除など）、その後「一礼運動」（登下校時に校舎に感謝の意味を込め一礼をする）にも取り組んでいます。長年、生き方の指導にも重点を置き、平成30年度はキャリア教育優良学校等文部科学大臣表彰をいただきました。

【本校の環境】

今年度は、全校生徒227名・全職員37名で教育活動をスタートしました。学校教育目標は「夢と誇りをもち、自ら学び、仲間とともにしなやかに伸びる生徒の育成」です。目指す生徒像の実現のため、教職員一丸となって努力していきます。昨年5月にコロナショックにピリオドが打たれ、3年ぶりに様々な教育活動にも活気が戻ってきました。これまで以上に、地域とともにある学校づくりを推進していきます。

今年度も本校教育に対しまして御支援と御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和6年4月

武雄市立山内中学校 校長 中尾 恵子